

奨学金（令和6年度）

本学では経済的理由により修学が困難な学生や、家計の急変により学業を継続することが難しくなった学生のために、次のような学内外の奨学金を取り扱っています。不明な点がありましたら学生サポート課にお問い合わせください。

・広島文教大学の独自奨学制度（給付型奨学金・貸与型奨学金・減免制度）

種別	武田ミキ記念基金奨学金 (学部生・院生対象)	美樹会（同窓会）奨学金 (学部生2年次生対象)	授業料等納付金減免 (学部生・院生対象 ／在学・入学予定者)	特別奨学金貸与 (学部生・院生対象)
対象	学業・人物ともに優秀で、経済的事情により学資援助を要する者	左に同じ 2年次生を対象とし、1年次の成績を基に選考	災害により被災した学生	人物、学力ともに優れた者で、災害その他家庭の事情の急変のため修学が困難となった者
月額 年額 等	20,000 円／月	20,000 円／月	納付金の 50%から 100%の範囲で減免	(1)被災：月額 10 万円以内 (2)経済的事由：学納金相当額 (3)感染症対応による生活費 補填：各学期 50 万円以内 1 人当り 100 万円以内
申請 時期	4 月申請	6 月頃学科推薦	事由発生時	事由発生時
適用 期間	1 年間	1 年間	1 年間（継続申請可）	最短修業期間
定員	若干名	若干名	—	—
返済 義務	なし	なし	なし	あり（無利息） 貸与期間終了後の翌月から 10 年以内。年賦、半年賦、 月賦その他の割賦

- ※ 入学金、授業料、教育維持費にかかる本学独自の優遇制度に適応となっている場合は武田ミキ記念基金奨学金の対象とはなりません。
- ※ 上記以外にも地方公共団体・民間団体が、それぞれ独自の方針に基づいて実施している奨学金もありますので、詳しくは学生サポート課までお問い合わせください。

・日本学生支援機構（貸与型奨学金）

種 別	第一種（無利子）	第二種（有利子）
対 象	学業優秀で、経済的理由により修学が困難な者	
月 額	給付対象者は金額に制限があります。	2 万円～12 万円の中から 1 万円刻みで貸与月額を選択
	自 宅 学 生：2・3・4 万円及び、 5 万 4 千円から選択 自 宅 外 学 生：2・3・4・5 万円及び、 6 万 4 千円から選択	
申請時期	4 月・10 月申請	
適用期間	最短修業年限終了時まで ※成績によっては新年度から停止になることがあります。	
返済義務	あり（無利子）	あり（有利子）
備 考	・大学院生は貸与月額や採用内容等が異なります。 ・家計の急変や災害等で学資支弁が困難な場合には、緊急・応急採用の制度があります。（応相談） ・経済状況・成績など採用および継続基準があります。	

※ 詳しくは[日本学生支援機構ホームページ](#)をご確認ください。

・高等教育の修学支援新制度（大学の授業料減免、日本学生支援機構の給付型奨学金）

種 別	高等教育の修学支援新制度（大学の授業料減免、日本学生支援機構の給付型奨学金）				
対 象	※住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生（所得基準を満たすかどうか、日本学生支援機構のホームページに掲載してある「 進学資金シミュレーター 」で、おおよその確認ができます。） ※成績・出席率の採用基準があります。				
①授業料減免額 ②給付金額		①授業料減免額		②給付金額	
	支援区分	授業料減免 （前期）	授業料減免 （後期）	自 宅	自 宅 外
	第Ⅰ区分	¥350,000	¥350,000	¥38,300	¥75,800
	第Ⅱ区分	¥233,400	¥233,300	¥25,600	¥50,600
	第Ⅲ区分	¥116,700	¥116,700	¥12,800	¥25,300
	第Ⅳ区分	¥87,500	¥87,500	¥9,600	¥19,000
申請時期	4月・10月申請				
適用期間	最短修業年限終了時まで ※家計状況によっては後期から支援区分の金額が変更または停止になることがあります。 ※成績や出席率によっては新年度から停止または廃止になることがあります。				
返済義務	原則なし（成績などによって、返還義務が生じる可能性があります）				
備 考	・家計の急変や災害等で学資支弁が困難な場合には、家計急変採用の制度があります。（応相談） ・経済状況・成績・出席率など採用および継続基準があります。 支援区分は、世帯収入等の基準により決定されます。 ・本学は高等教育の修学支援新制度の要件を満たしており、継続して対象校として認定される見込みです。				

※ 詳しくは[文部科学省ホームページ](#)、[日本学生支援機構ホームページ](#)をご確認ください。